

令和5年度秋葉区社会福祉協議会 社会福祉功労者表彰

秋葉区内において民間社会福祉の増進に貢献し、社会福祉事業の進展に寄与された方々を紹介し、社会福祉功労者として表彰いたします。(敬称略)

◇自治会長・町内会長として10年以上勤務または民生委員児童委員においては9年以上勤務し、特に功労のあった者

自治会長・町内会長

辻川 邦博様 鬼島 基伸様

◇社会福祉協議会の役員として8年以上勤務し、特に功績のあった者

長澤 恵美子様

◇地域福祉活動を10年以上行い優秀な実績を示し、他の模範となる個人、団体または企業

加瀬 敏子様 大山 広子様 高橋 公子様
大沼 直子様 岡田 絹子様 江部 修二様
井越 隆志様

令和5年12月9日(土)に開催しました「秋葉区地域福祉推進フォーラム」においてその功績をたたえ、表彰状を贈らせていただきました。



令和5年度 秋葉区地域福祉推進フォーラム 開催報告

令和5年12月9日(土)に秋葉区文化会館にて秋葉区地域福祉推進フォーラムを開催しました。当日は会場とオンラインで多くの方よりご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年度は「伝えあう想いから支えあうカタチへ～地域共生社会を目指して～」をテーマに、新潟医療福祉大学 青木先生にコーディネートをお願いし、地域の茶の間、支え合いのしくみづくり、企業、社会福祉協議会からそれぞれの取り組みと想いを発信しました。



地域の茶の間 三善道「絆」の会 会長 小林 俊介様 副会長 三澤 栄子様

地域の茶の間 三善道「絆」の会 会長 小林様、副会長 三澤様より、三つの町内が一体となり、地域の誰もがつながることができる居場所が作りたという想いから立ち上がった「三善道憩いの場『絆』」について発表がありました。地域のつながりを求めて、様々なしくみやこだわりがたくさん詰まった取り組みを行っています。

支え合いのしくみづくり会議 構成員 中野様より、民生委員児童委員として見守り活動に取り組んでいる想いや、「おぎかわあったかネット(見守り活動)」の役割について発表がありました。暮らし続けている人たちが地域の支え合いのしくみづくりについて考えていくことが大切であり、日々の暮らしの安心感が増してくるものと思われま。



新津第一・第二圏域 支え合いのしくみづくり会議 構成員 中野 勇作様

ニコニコキッチン新津店 店長 佐々木様より、認知症予防の情報発

信や、認知症サポーター養成講座を活用し子どもや企業を含めた地域に認知症の理解を広めることの必要性について発表がありました。見守りやニュースレターの発行等、様々な取り組みで「認知症」と向き合っています。



ニコニコキッチン新津店 店長 佐々木 健様



秋葉区社会福祉協議会 コミュニティソーシャルワーカー 粟斗 綾香

秋葉区社会福祉協議会より、ひとり親世帯へのアンケート結果から考える様々な地域課題について発表しました。地域には様々な方が住んでいるということをし少し理解することで、支えあい、そして支えあうカタチになり、地域共生社会の実現に近づきます。

各シンポジストの発表があった後、参加者の皆様に地域の様々な活動をまとめた映像をご覧いただき、青木先生から「これが秋葉区の底力である」とのメッセージをいただいたことで、地域課題に対する取り組みの大切さを再確認する機会となりました。



新潟医療福祉大学 教授 青木 茂様

最後に先生から、「協働とネットワーク、つまりつながることが大事。今回実践を通して、皆さんも理解が深まったと思う。プロセス(過程)を丁寧に行うことで、秋葉区の地域力は更に高まっていくものである。」とまとめていただきました。

秋葉区社会福祉協議会では、これからも地域共生社会を目指し、関係機関・団体を含めた地域の皆様と一緒に地域福祉活動に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後もよろしくお願いいたします。

また、地域活動をまとめた映像は貸出が可能ですので、ご希望の際は秋葉区社会福祉協議会へお問い合わせください。

ひとり親世帯の福祉に関するアンケート集計の報告について

令和5年7月28日(金)・29日(土)、ひとり親世帯に食料支援を行いました。

この取り組みは、令和3年度から、新型コロナウイルス感染症に係る経済的負担の軽減による生活支援として、ひとり親世帯を対象に食料支援を行ってきました。この取り組みを通し、秋葉区社会福祉協議会とつながることで、孤独感の解消と生活の不安に対して関係機関と連携しながら継続的な相談支援を行うことを目的としています。

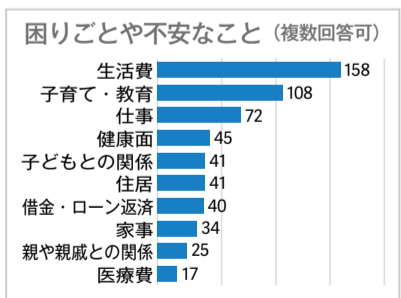
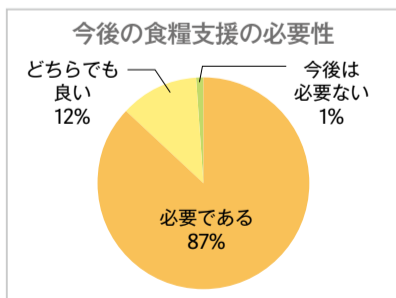
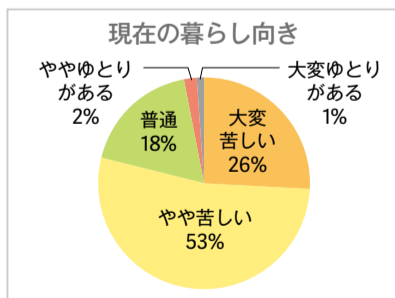
今年度で3年目を迎えるにあたり、今後の食料支援の在り方や、現在の困りごと等、アンケート調査を行うことで、今後の取り組みの方向性を検討していきたいと考えています。

この調査では、対象世帯約500世帯のうち、200世帯の回答をいただきましたが、ひとり親世帯の生活実感は、コロナが5類になった今日でも、生活や子育ての不安は絶えないことがアンケートから伺えました。

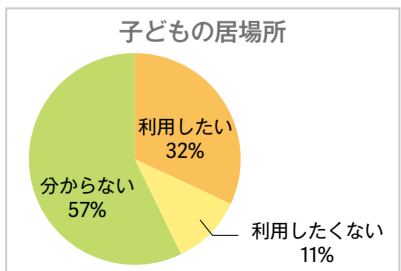
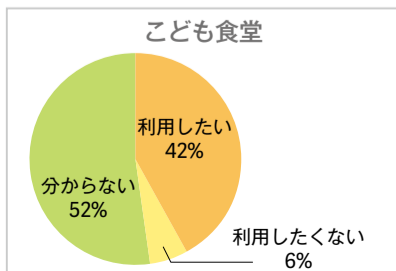
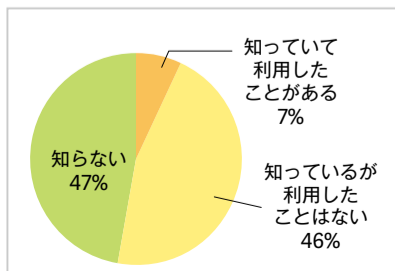
結果では、食料支援を継続してほしい、入学準備に必要な物品の頒布会をしてほしい、どこに相談したら良いかわからないなどの声がありました。また、子どもの居場所や子ども食堂があることを知らない、利用したことがない等の意見もあり、今後の地域づくりの課題となりました。

今後につきましては、アンケートの結果をもとに、関係機関や各団体の皆さんと一緒に地域づくりを考えていきたいと思ひます。

ひとり親世帯の福祉に関するアンケート調査結果(抜粋)



Q 秋葉区内の子ども食堂や子どもの居場所があることを知っていますか。また、あなたやお子さんは、これらの居場所を利用したことがありますか。(「知っているが利用したことはない」「知らない」の回答者のみ。) 地域の子どもの居場所を利用したいですか。



秋葉区ボランティア・市民活動センター

ボランティア・市民活動センターは、ボランティアや市民活動に関する身近な相談窓口です。様々な団体や社会資源と連携しながらボランティア活動を応援しています。

区民の皆様の声の形にできるよう、ボランティアと施設・団体との調整をしたり、ボランティアの皆様が活動しやすくなるような情報提供を行っています。

また、ボランティアや福祉に関わるきっかけづくりとして、年間を通して様々な講座や研修会を開催していますので、興味のある方はぜひご参加ください。

なお、学校での「福祉」の学びや、企業での「ボランティア」や「認知症」の学びのお手伝いもしております。お気軽にご相談ください。

ボランティア活動保険

令和6年度のボランティア活動保険への加入を受付中です。昨年度加入された保険は3月末で補償期間が切れますので、4月1日から補償を希望される場合は、3月29日(金)までに、社協窓口にてお手続きください。新規のご加入もお待ちしております。

	基本プラン	天災・地震補償プラン
年間保険料	350円	500円

※おつりのいらぬようご用意願います。

報告 障がい児・者の将来のための講座を開催しました

令和5年11月11日(土)、新津地域交流センターにて障がい児・者の将来のための今からできる準備講座を開催いたしました。

近年、障がい児・者を抱えるご家族から、「子どもの将来が心配」「自分がいなくなった後、子どもが暮らせるように何を準備しておくか」と良いのか」など相談が寄せられたことから、本講座を開催し、当日は定員20名のところ30名と多くの参加をいただきました。



内容は、真友社の石田友美様から、「障がいのある方の生活について考える」、社協コミュニティソーシャルワーカーから「個別相談から考える事前準備」、ボランティアセンターからは「地域でつながっていくことの必要性」をお話しました。

参加された方からは、「家族だけで本人を見てきたが、地域とつながることの大切さを実感した」「障がい児を持つ若い親にも参加してほしい」等と感想をいただき、この講座を「初めの一歩」として、今後も皆さまの声にこたえられるよう考えていきたいと思っております。



報告 障がいの理解講座を開催しました

令和5年11月15日(水)、新津地区グリーンセンター及びけやき福祉園、満日の里、ぶどう工房にて障がいの理解講座を開催いたしました。

満日地区の癒しの里連絡協議会と満日コミュニティ協議会では、満日地区での買い物支援の取り組みを行っています。障がい施設についての理解や利用者についての理解を深め、地域と施設が交流できる機会をつくることを目的に取り組みました。



実際に地域の方が施設を見学することで、利用者の活動が分かり、「それぞれの利用者が生き生きと活動している様子が素晴らしかった」「同じ地区の中に施設があるのは知っていたが、知らないことが多かった。参加してよかった」と感想をいただき、地域と施設が「もっと交流したい」「広く地域の人に参加してほしい」といった声がたくさん寄せられました。



令和5年度 ボランティア交流会を開催しました

令和6年3月1日(金) 14:00 ~ 16:00

新津地域交流センターにて開催

登録ボランティア(団体・個人)、にいがたし元気力アップ・サポーター、地域の茶の間・ふれあいきいきサロン、秋葉区内施設の皆さんが集まって交流会を開催。

ボランティアのステージ発表や体験、情報交換など楽しい時間を過ごしました。

131名
参加しました



施設ボランティアについて アンケートを実施

秋葉区の福祉施設を対象にアンケートを行いました。このアンケートにより普段の施設の様子やボランティアの受け入れ状況について貴重なご意見をいただくことができました。これらの結果を参考に、今後のボランティア育成や施設利用者が施設での時間がより充実するよう、施設と秋葉区社会福祉協議会が連携できる方法を検討してまいります。

ボランティア受入についてのご相談は
秋葉区ボランティア・市民活動センターへ

(0250) 24-8345 (ボラセン直通)

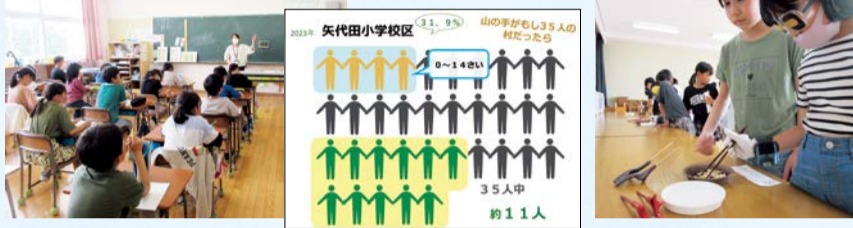
「ふだんのくらしのしあわせ」について学ぼう

福祉はその単語の頭文字を使い「ふだんのくらしのしあわせ」と紹介されることがあります。福祉教育は、ふだんのくらしのしあわせをつくるための学びです。

子どもたちを含む地域住民が、身の回りの方々や地域との関わりの中から、「ふだんのくらし」の中にどのような福祉的課題があるかを自ら学び、課題を解決する方法を考え、解決のために行動する力を養うことで、ともに生きる力を育みます。秋葉区社会福祉協議会では、地域住民同士がともに支え合う地域づくり(地域共生社会)を目指し、福祉教育に取り組んでいます。

矢代田小学校4年生 福祉の学び

矢代田小学校のすぐ前にあるふれあい会館で開催されている地域の茶の間「いこてば こいてば ふれあい会館」の参加者の皆さんとの交流を目指して、福祉の学びが始まりました。



数字から見る高齢化の実態や山の手地区の福祉の取り組み、体験等から高齢者について学びました。

高齢者について学んだ子どもたちは、お互いが楽しめる交流を目指して、「いこてば こいてば ふれあい会館」の皆さんへ突撃インタビュー！



学んだことを活かして、自分たちだけが楽しむのではなく、簡単にできるルールに変更したり、伝わりやすい説明の仕方を考えたり、どうしたらお互いに楽しい時間になるかみんなで話し合い、準備をしてきました。高齢者について学んできた子どもたちからは、相手のことを想ったアイデアがどんどん出てきました。当日は、地域の方々との楽しいふれあいの時間となりました。



高齢者について学び、地域の高齢者の皆さんとふれあった子どもたちから、「もっと福祉のこと知りたい！」と秋葉区社協に連絡がきました。



車いすやアイマスク体験を通して、障がいについても学びました。



福祉について学んできた子どもたちと一緒に学びの共有を行いました。子どもたちが書いた付箋には、体験やふれあいなどを通してのたくさんの学びや気づき、思いやりに溢れていました。



子どもたちの気づき・感想

- ・私は、今日福祉の意味を初めて知りました。最初、おばあちゃんとおじいちゃんを助ける意味だと思っていたけど違いました。福祉は人を幸せにするんだなと思いました。
- ・自分が大人になったら高齢者に何ができるかを考えていきたいです。
- ・元気に挨拶してくれたら嬉しいから私も大変そうな人、高齢者の人がいたら元気に声をかけて優しく接してあげたいです。
- ・僕はこの内容を活かして、学校生活の中の委員会活動などで学校を明るくしていきたいです。僕も人を笑顔にしたいなと思いました。

その後も「いこてば こいてば ふれあい会館」の皆さんとの交流は続いています。



2月には一緒に豆まきをしました。

4年生担任 近藤先生

4年生での「福祉」をテーマにした学習は、子どもから大人まで考えさせられる内容だと感じております。子どもたちは、地域の茶の間での遊び、高齢者体験、車いす・アイマスク体験、豆まき、学習のまとめを通して、人と人が支え合って生活していくことの大切さを知る良い機会になりました。

また、1人1人が「福祉とは何か」を深く考える良い時間になったと思います。私自身も実際に子どもたちと同じ体験を通して、「福祉」について改めて考える良い機会になりました。



結小学校5年生

高齢者について学んでいる子どもたちに、日頃から高齢者の福祉と向き合い、荻川地区のよりよい地域づくりに向けて実際に活動を行っている荻川地区社会福祉協議会の方よりお話いただきました。



阿賀小学校5年生

認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の症状や接する時に心がけることを学びました。子どもたちからは、「安心させてあげたい」といった感想があり、自分ができることを考えるきっかけになりました。



金津小学校4年生

福祉を学ぶ中で、福祉活動に取り組んでいる地域の方のお話をお聞きしたり、交流を行いました。たくさんの身近な福祉に触れ、自分ごととして福祉は身近な存在であると捉えてくれたようです。



小合小学校4年生

交流の拠点となる地域の居場所の役割や効果を学んだ子どもたちは、今回自分たちで「なかよしサロン」を企画し、小戸下組の「サロンさくら会」の皆さんをお招きしました。交流することの楽しさを感じるとともに、地域の方や地域の取り組みへの関心が生まれました。



今回は、小学校で行われている取り組みの一部をご紹介しましたが、福祉教育は地域や企業向けにも取り組んでいますので、ぜひ秋葉区社会福祉協議会にご相談ください。

ふれあい福祉サービス

ふれあい福祉サービスとは

手助けを必要とする方、手助けをしたい方が会員となり、自分らしく心豊かに暮らしていくために、住民がともに手を取り合い、家事援助や話し相手などを通して、お互いの生活を支援、支え合う活動です。

住み慣れた地域や家で少しでも長く暮らしたいという気持ちのお手伝いができればと思ってできたサービスです。

利用会員について

利用できる方：秋葉区にお住まいの方でおおむね65歳以上の障がい児・者、お手伝いが必要な方

活動内容：調理及び食事の準備、買い物、掃除、洗濯、話し相手、外出の付き添い(通院、散歩など)、ゴミ出し、灯油入れ、衣替え、新聞・雑誌づくり等

利用日時：平日の午前9時～午後5時
(ゴミ出しは午前8時半までに実施)
土日祝日および12月29日～1月3日はお休み

利用料：1時間につき500円(ゴミ出しは30分250円)
生活保護世帯は半額です



協力会員について

資格等は必要ありません。当サービスにご理解をもって活動して下さる方はどなたでも登録できます。できるときにできることを、短時間での活動も可能です。皆さまの支え合い・助け合い活動へのご登録を心よりお待ちしております。

説明会のご案内

毎月20日に秋葉区社会福祉協議会にて説明会を開催しています。午前10時から1時間程度、予約は不要です。当日、時間までにお越しください。
※20日が祝日にあたる場合は翌日になります。

お問い合わせ 秋葉区社会福祉協議会 TEL 0250-24-8376

交流会報告

令和5年11月17日(金) 協力会員を対象に、交流会及び研修会を3年ぶりに開催しました。心がまえの確認や意見交換を行い、協力会員同士の情報共有、交流の場となりました。



賛助会員 にご加入いただき、ありがとうございました

企業・団体・個人の皆さまから賛助会員にご加入いただきました。

- BDコーポレーション株式会社
- 株式会社八重電業社
- 新潟県労働金庫新津支店
- 美幸町長寿会
- 阿部自動車興業株式会社
- 新潟観光開発株式会社
- 有限会社新津清掃社
- 大鹿ときわ会
- 小出耳鼻咽喉科
- 新潟薬科大学
- 医療法人社団健進会「田家地区健康を守る会」
- 小口和楽会
- 新興タクシー株式会社
- 新潟かがやき農業協同組合新津支店
- 医療法人社団健進会「田家地区健康を守る会」
- 六郷瓢会
- 大和開発興業株式会社
- 新津商工会議所
- 株式会社プロピデンス
- 秋葉寿楽会
- 越後天然ガス株式会社
- 大宗建設工業株式会社
- 有限会社ケアサブライどりーむ
- 田家2丁目老社会
- 株式会社イシカワ
- 日佑電子株式会社
- 株式会社プロピデンス
- 東金沢老友会
- 株式会社新潟エコテック
- 株式会社高塚文具
- 有限会社ケアサブライどりーむ
- 中野田清老会
- 株式会社坂電工業
- 株式会社小川組
- 有限会社カーネットワークオート
- 満願寺寿会
- 株式会社新津自動車学校
- 有限会社玉庭印刷所
- 七日町白寿会
- 株式会社天神屋
- 有限会社五十嵐工業所
- 川口皆和会
- 株式会社徳永製作所
- 有限会社春日薬局
- 結福島楽悠会
- 有限会社新津ビル管理
- 南町鶴寿会
- 萩島友会
- しがね町交友会
- 車場寿会

●企業 ●団体 ●個人 (令和6年3月現在) (敬称略・順不同)

令和5年度 赤い羽根共同募金実績

令和5年度も赤い羽根共同募金にご協力いただき、誠にありがとうございました。
秋葉区内における募金実績額をご報告いたします。

実績合計	11,443,705円
赤い羽根共同募金	7,737,718円
歳末たすけあい募金	3,705,987円

お寄せいただいた募金は、秋葉区内の地域福祉活動をはじめ、県内の民間福祉施設等への助成や災害支援に活用されます。
運動期間中、お力添えいただきました自治会町内会、学校、企業、各種団体の皆様に厚く御礼申し上げます。

あたたかいご寄付をありがとうございました



株式会社ダイナム新潟新津店
ストアマネジャー 神田俊明様 (写真右)



東北電力ネットワーク株式会社
新津電力センター
所長 柴田隆様 (写真左)

寄付者氏名(敬称略)	寄付金額・物品	寄付先
新潟県労働金庫新津支店	50,000円	秋葉区社協
松本 京子	20,000円	秋葉区社協
ベルシティ新津	18,857円	秋葉区社協
金津コミュニティ振興協議会	17,535円	秋葉区社協
渋谷一座	10,000円	秋葉区社協
匿名	2,000円	秋葉区社協
秋葉区市民団基大会実行委員会 実行委員 田地野 裕一	431円	秋葉区社協
匿名	20,000円 米 5kg	秋葉区内子ども食堂 フードバンク
程島町内会	9,861円 野菜	秋葉区社協
(株)ダイナム新潟新津店	食料品・日用品	秋葉区社協
東北電力ネットワーク(株) 新津電力センター	非常食	秋葉区社協
匿名	米 60kg	秋葉区内子ども食堂
匿名	米 20kg	秋葉区社協

秋葉区内の福祉事業・活動に活用させていただきます。
(令和5年8月16日～令和6年2月29日)



物品等の寄付について

物品や食品の寄付をしたい旨のご連絡をいただいております。物品や食品については、下記のとおりご案内申し上げます。
○物品：必要とする福祉施設等(市内・区内)に情報提供を行っております。
(情報提供を行うため、型式や写真等詳細な情報が必要となります。)
なお、必要とする福祉施設がない場合など、お断りすることもございますので予めご了承ください。
○食品：食品は、秋葉区社協窓口にフードバンクにいがたの寄付受付用ボックスを設置しております。お受けできる条件がございますので、詳細はフードバンクにいがたにお問い合わせください。
フードバンクにいがた問い合わせ先 TEL025-282-7374

秋葉区社協だよりの郵送申込みを受け付けております。

秋葉区にお住まいの方で新聞未購読等、秋葉区社協だよりが届いていない世帯で郵送を希望される方は、秋葉区社会福祉協議会までお申込みください。

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会

秋葉区社会福祉協議会

新潟市秋葉区新津本町 1-2-39
TEL: 0250-24-8376 (代表) FAX: 0250-23-3322
TEL: 0250-24-8345 (秋葉区ボランティア・市民活動センター)
URL: <http://niigataakihaku-syakyo.jp/>

秋葉区社会福祉協議会

検索



ホームページも見てね

